

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達サポートCOCOLABO		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのコミュニケーションが十分に取れている。	お子様の支援も大事ですが、ご家庭とのコミュニケーションも大切にしています。困ったことがあれば情報を提供したり、一緒に悩んだり、全職員でお子様のご様子を伝えることができるように些細な事でもミーティングは必ず行っています。	職員一人一人の個人的な主観で話をしないように心がけます。職員間の連携も変わらずに取ります。
2	こどもは通所を楽しみにしている。	居場所として心が落ち着く場所になるように暖かい雰囲気を作っています。一人ひとりのお子様にも声をかけコミュニケーションも十分にとっています。	長期休みなどにはイベントなども計画し、楽しい居場所、落ち着く居場所になるように工夫します。
3	事業所内は明るく清潔である。	毎日の清掃や子どもたちが使う備品なども清掃し、新しいものを取り入れたりしながらも清潔で過ごしやすい空間を心がけています。	今後も必要な備品は交換をこまめにしたり、清掃も丁寧に行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がないこと	同事業所との関わりはあるが、市が管轄の幼保、児童クラブと関わった前例もなく、別という認識がある。市主催の交流会などの企画があれば是非参加したいが、こちらからは声をかけにくい状況である。	関係者連携の会議などあれば、積極的に声をかけたい。
2	非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の回数を増やすこと	防災などへの関心や知識を得るための機会や訓練は行っているが、特別に対応が必要なお子様の安全を守るために人員が必要であったりすることから実際に指定の避難所へ出向いたりできていない。	1年間のスケジュールを作成し、保護者も参加できる方にはしていただき、避難・引き渡し訓練などを実施したい。
3	活動プログラムが固定化されないような工夫をすること	その日その日で違うことをしているが、毎日になるので固定化されやすくなっているのはある。	保護者にはどのようなことを行ったのか報告をすることにより理解を得る。新しいことを取り入れたりしながら充実した時間にする。